

2. サステナビリティの取り組み

昨年3月にサステナビリティの取り組みを加速させるため、サステナビリティ推進室を設置し、また確実に具現化していくために本部各部横断的に3つの分科会を同時に設置しました。

2021年9月にはTCFDへの賛同を表明し、気候変動に関する取り組みについて複数のシナリオを考慮して適切な開示に努めております。

TCFD=気候変動に関する財務内容開示のタスクフォース

TCFDへの賛同(2021年9月)

気候変動に関する取り組みの適切な開示

(TCFD=気候変動に関する財務内容開示のタスクフォース)

<主な開示内容>

| 項目 | 2022年度開示内容 |
|-------|--|
| ガバナンス | ・「サステナビリティ基本方針」「環境方針」を制定 ・「サステナビリティ推進室」の設置及び具体的な取組の明示 |
| 戦略 | ・気候変動対策が講じられない物理的リスクの認識について明示 ・洪水による担保物件毀損額及び取引先事業停止に伴う売上減少割合定量化 ・お客さまのSDGs取組やESG経営をサポートするスタンスの明示 ・コンサルティングメニューと金融商品の紹介 |
| リスク管理 | ・気候変動に起因するリスクが、当行の事業運営、戦略、財務計画に大きな影響を与えるリスクとして統合的に管理していく体制の指向 |
| 指標と数値 | ・グループ全体の排出量 (SCOPE1,2) の排出量開示 ・CO ₂ 排出量の削減目標の開示 ⇒ 2030年までに2013年度比70%削減 ・サステナブルファイナンスの目標金額設定 ⇒ 2030年までに実行総額1兆円 |

・今後は気候変動だけでなく生物多様性に関する開示 (TNFD) にも対応予定

21世紀末までに脱炭素に積極的に取組まない4℃上昇シナリオでは、県の面積に占める河川の割合が全国有数で平地が広い埼玉県では、洪水による大きな災害が想定され、県内の皆さまと一緒に早急に脱炭素に取り組んでいく必要があるかと思っております。そこで当行は様々なお取引先の脱炭素をはじめとしたSDGsの課題に対応した商品・サービスを数多く用意しており、お取引状況や企業規模・業種などに応じて、最適なご支援メニューをご提供いたします。

1社1社の取組状況や企業規模・業種などに応じ、最適な支援メニューを提供

<主な支援メニュー>

| | | |
|----------|----------------------|--|
| ファイナンス | ソーシャルローン | ソーシャルローン原則に適合する社会課題解決に資する事業への融資 |
| | サステナビリティ・リンク・ローン | サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットの達成状況に応じ、金利条件が変動 |
| | サステナビリティ・フレームワーク・ローン | サステナビリティ・リンク・ローンを手続・費用面で利用しやすい融資商品 |
| | SDGs フレンズローン | チェックシートを活用、SDGsと経営課題の関係を可視化。情報発信や他社との交流などをサポート |
| コンサルティング | SDGs コンサルティング | SDGsの取組状況に応じたオーダーメイドのコンサルティングでSDGs宣言策定を支援 |
| | 脱炭素コンサルティング | CO ₂ 排出量算定・CO ₂ 削減計画策定支援 |
| | SDGs 診断サービス | SDGsの取組状況を可視化する「診断」を実施 |

また、当行が営業基盤としている埼玉県の持続可能こそが当行の将来につながりますので、地方公共団体やNPOなどと連携しつつ、金融経済教育をはじめとして埼玉県の次世代に積極的に関与していかねばならないと考えています。

地域公共団体・NPO等との連携

埼玉県版ふるさとSDGsボードゲーム製作への協力

- ・埼玉県内の行政・企業・団体等によるSDGsの取組事例を紹介した「埼玉県版ふるさとSDGsボードゲーム」製作プロジェクトに参加。
- ・武蔵野銀行本店2階地域創生スペース M's SQUAREでゲームの完成披露＆体験会を開催。
- ・ボードゲームを通して、SDGsの理解を深めるとともに、地域で交流の機会を創出。



- ・埼玉県版SDGsボードゲームは、全国版、神奈川県、滋賀、京都、次ぐと順目
- ・交流イベントの開催や子ども教育など、埼玉県内のSDGs普及促進で幅広く活用

2023.1

M's SQUARE



■ (SDGsに関する特徴的な取り組み)

生物多様性への取組み

「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」は、当行 40 記念事業として、1992 年にスタートしました。これまでに埼玉県内で自然環境保全に取り組む 331 団体に 7,651 万円の助成を行っております。また、2021 年 12 月に開業した本店ビルの 1 階周辺に、約 1400 本の地域在来植物を植栽して、銀行本店として初の JHEP の認証を取得しました。JHEP とは建物などに対して生物多様性への貢献度を評価する認証制度です。生物多様性保全はその地域毎に取り組んでいく必要がありますので、地方銀行の経営と非常に親和性があると個人的には感じております。

- ・2021年12月開業の本店ビルにて、地域在来植物による植栽を実施
- ・生物多様性を評価する「JHEP」を銀行本店で初取得



豊かな色彩の「武蔵野の森」



JHEP AA取得

■ 従業員へのSDGsの周知・浸透

「誰一人取り残さない」ことを目指すSDGsは、みんなで取り組まなければならないことです。SDGsの取り組みが一過性のものにならないように、少しずつ確実に従業員に浸透していければと考えています。



従業員へのSDGsの知識習得・意識向上に向けて

全ての従業員がSDGsを理解して公私にわたって実践してほしい。(会社でも自宅でもどこでも学習可能)

| 行員専用サイトによるSDGs学習講座 | |
|--------------------|--|
| 講座名 | SDGsを学ぶ講座 |
| 内容 | ・SDGsの基礎から発展的な知識まで細分化されたテーマ(単元)毎に学習 ・SDGsとは何かから企業等の具体的な事例まで理解すべき事項を広範囲に学習 |
| 構成 | ・全45回の単元 ・全単元終了後、習熟レベルチェックテスト3回を経て検定試験を実施 (習熟レベルチェックテスト3回合格して講座を終了しないと検定試験は受検できない) ・検定試験の受験機会は1回のみで70点以上が合格 ・検定試験を含む総学習時間は約20～30時間程度 |
| 対象者 | 全従業員 |
| 目標 | 2023年3月末までに対象者全員が検定試験に合格する。 |
| 費用 | 個人負担なし(全額銀行負担) |

